

竹類



ネザサ

イネ科

花期 晩春(4～5月)

高さ 20～150cm



丘陵^{きゅうりょう}や山野の川、道^{みち}ばたに群^{むら}がって生える多年草^{たねんそう}です。

細くてじょうぶな地下茎^{ちかかけい}を横にひいて、春に“たけのこ”を出し、節^{ふし}に長いあらい毛が生えます。葉は4～23cmで毛はなく、茎の先に2～10枚つきます。

1970年に、近畿^{きんき}一帯は、いつせいに花が咲いて実を結んで枯^かれましたが、今また増えてきています。

豊中の丘陵地帯などで見られるササは、ほとんどこのササです。ネザサは低く地にはって、ふえていくことから名付けられたものです。

写真のものは冬の姿で、葉は下に垂れてへりが白く^か枯れています。

モウソウチク

イネ科

花期 不定期

高さ 10m以内



タケノコ

直径が20cmにもなる日本最大の竹です。東泉丘から服部緑地公園にかけ広がっている竹やぶはこのモウソウチクです。“たけのこ”がおいしく食べられるので、特に有名です。

良く似た竹にマダケとハチクがありますが、節のくびれがモウソウチクは一つで、他は二重になっているので区別できます。たけのこが出る時期で見分けるとモウソウチクは4～5月、ハチクは6月、マダケは7月を過ぎても出ています。背たけがよくのびるのはマダケで、20mにもなり、竹の皮もいいのが取れます。

